

菱川師宣記念館

新収蔵品展

令和2年9月8日(火)〜11月1日(日)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

故郷に唯一残った幻の師宣の肉筆画と父の刺繍画が今ここに並ぶ



菱川吉左衛門 縫箔刺繍「柿本人麻呂像」

きよなんの浮世絵ミュージアム

菱川師宣記念館

HISHIKAWA MORONOBU UKIYO E MUSEUM

千葉県安房郡鋸南町吉浜516 TEL 0470-55-4061

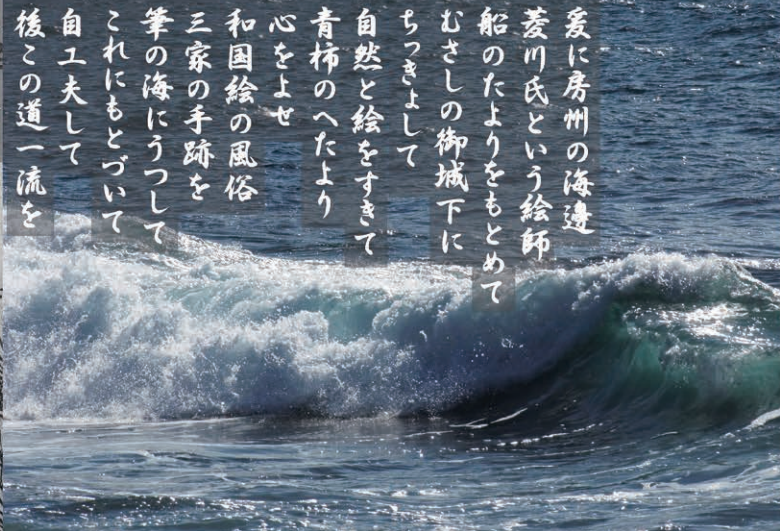
- ◆アクセス 電車 JR内房線 保田駅下車 徒歩15分
車 富津館山道路 鋸南保田IC下車 国道127号沿い 道の駅きよなん内
- ◆開館時間 9:00〜17:00 (入館16:30まで)
- ◆入場料 一般・大学生500円 小中高生400円 (団体20名以上 2割引)

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策をおこなっています。



菱川師宣「昇り龍図」

房陽の絵師のふるさと



爰に房州の海邊
菱川氏という絵師
船のたよりをもとめて
むさしの御城下に
ちつきよして
自然と絵をすきて
青柿のへたより
心をよせ
和国絵の風俗
三家の手跡を
筆の海にうつして
これにもとづいて
自工夫して
後この道一流を
じゆくして
浮世絵師の名をとれり



菱川師宣

浮世絵師・菱川師宣を形成した故郷保田と大正期の文人たちの愛した保田を探る

浮世絵を開花させた菱川師宣。その技量や芸術性は故郷の房州保田、特に父の影響にあるとされます。このたび地元で唯一現存した師宣の墨絵の名画「昇り龍図」と父吉左衛門の刺繍画「柿本人麻呂像」の寄贈を受け、貴重な父子両作品同時公開します。加えて師宣の「桜花立美人図」など他にも寄贈された肉筆画を展示、師宣と故郷保田についてあらためて検証します。

さらに大正期、文人・歌人や画家が愛し移住した保田にもスポットをあて、寄贈を受けた石原純・原阿佐緒、金森南耕、山内多門らの肉筆作品を展示、知られざる保田の魅力、江戸と大正の二つの時代から紹介する新収蔵品公開展です。



金森南耕「羽衣之図」



金森南耕「高砂」



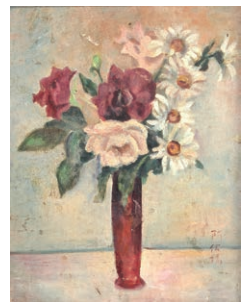
菱川師宣「桜花立美人図」



菱川友房「風俗絵巻」



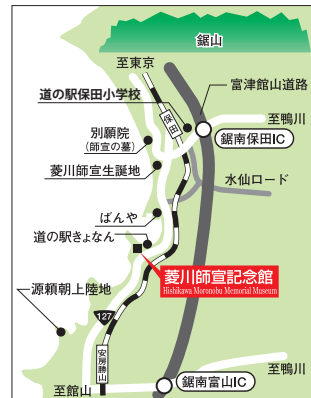
石原純・金森南耕「田園」



原阿佐緒「花」

浮世絵の祖出生の地 南房総 鋸南 ひしかわもろのぶきねんかん 菱川師宣記念館

〒299-1908 千葉県安房郡鋸南町吉浜 516 TEL.0470-55-4061
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
開館時間 午前9時~午後5時(入館 午後4時30分まで)
入館料 大人500円(400円) 小・中・高校生400円(300円)
()内は団体20名以上の料金
アクセス 電車 JR内房線 保田駅または安房勝山駅下車(徒歩15分)
車 富津館山道路 鋸南保田ICより5分
国道127号線沿い 道の駅きよなん内



入館割引券
このチラシご持参の方2割引
(1グループまで)